

# 第18回「TDK山崎貞一杯争奪少年サッカー選手権大会」

## 大会開催要項

1. 趣 旨 TDK(株)顧問、故山崎貞一氏生前の遺志を受け継ぎ、「科学とスポーツ」を通して次代を築く創造性豊かな子供たちを育てることを目的とし、平成19年秋田国体を契機に地域のサッカー文化の発展を目指すものであります。
2. 名 称 「TDK山崎貞一杯争奪少年サッカー選手権大会」
3. 主 催 TDK 山崎貞一杯実行委員会
4. 主 管 由利本荘・にかほ地区4種委員会
5. 後 援 TDK(株) にかほ市 由利本荘市
6. 期 日 2017年5月3日(水) 開会式は行いません  
予選リーグ  
2017年5月4日(木) 各順位リーグ(U-12, U-11)、リーグ戦(U-10)  
2017年5月5日(金) 順位トーナメント  
閉会式: 試合終了後(各会場)
7. 会 場 TDK秋田総合スポーツセンターサッカー場(4面)  
仁賀保グリーンフィールド(2面)、西目カントリーパークサッカー場(2面)
8. 参 加 資 格 日本サッカー協会に選手登録しており、スポーツ保険へ加入済みチームであること  
女子は6年生がU-11に、5年生がU-10に出場できる
9. 参 加 費 U-12の部: 12,000円 U-11の部: 3,000円 U-10の部: 3,000円
10. 参 加 チーム U-12の部 U-11の部 U-10の部 申込みチームによる
11. 競 技 方 法 【U-12の部】・・・8人制  
予選リーグ: 28チームを7グループに分けリーグ戦  
順位トーナメント: 予選リーグの同順位によるリーグ戦から順位トーナメント  
【U-11の部】・・・8人制  
予選リーグ: 17チームを4グループに分けリーグ戦  
順位トーナメント: 予選リーグの同順位によるリーグ戦から順位トーナメント  
【U-10の部】・・・8人制  
予選リーグ: 20チームを4グループに分けリーグ戦  
順位トーナメント: 予選リーグの同順位による順位トーナメント  
※参加チーム数の変動により競技方法を変更する場合があります
12. 競 技 規 則 【各カテゴリ共通】  
本年度日本サッカー協会8人制競技規則による。ただし、以下の項目については今大会用として別に定める。  
① 競技時間  
【U-12の部】  
・全ての試合 15分×5分×15分  
【U-11・10の部】  
・全ての試合 10分×5分×10分  
※参加チーム数の変動により競技時間を変更する場合があります。

- ② 順位決定方法:勝ち点・・・勝—3、分—1、負—0
  - (1)勝ち点 (2)得失点差 (3)総得点 (4)対戦上位 (5)抽選
  - (2)トーナメントにおいて前後半で決しない場合はすべて3人によるPK戦。
- ③ 選手交替
  - ・登録選手20名のうち交代要員8名まで自由な交代を認める。
  - ・インプレー中においても交代ゾーンからの交代を認める。ただしGKは除く。
- ④ 試合球:4号検定球(本部で準備)
- ⑤ 審判
  - ・主審1名、補助1名
  - ・審判員に対して不平不満を表さず、リスペクト精神をもって試合に参加する。
- ⑥ 警告・退場
  - ・ 本大会期間中2度の警告を受けた選手は、次の試合に出場できない
  - ・ 1試合で2度の警告による退場及び一発退場を受けた選手は次の試合に出場できない。
  - ・ 退場処分の内容によっては、大会本部にて出場停止試合数を判断する。

### 13. 表

#### 彰

- ◆U-12の部、1～4位トーナメント
  - ・ 優勝・・・山崎貞一杯、賞状
  - ・ 準優勝・・・盾、賞状
  - ・ 第3位・・・盾
- ◆U-11の部、1～4位トーナメント
  - ・ 優勝・・・盾、賞状
  - ・ 準優勝・・・盾、賞状
  - ・ 第3位・・・盾
- ◆U-10の部、1～4位トーナメント
  - ・ 優勝・・・盾、賞状
  - ・ 準優勝・・・盾、賞状
  - ・ 第3位・・・盾

#### ○山崎貞一氏の略歴



明治 42 年 8 月 5 日 静岡県榛原郡相良町福岡に生まれる  
 昭和 10 年 3 月 東京工業大学電気化学科卒業 同大同科助手  
 昭和 13 年 6 月 東京電気化学工業株式会社(現TDK株式会社)に入社  
 昭和 22 年 12 月 同社 2 代目取締役社長に就任  
 昭和 35 年 10 月 フェライトコア・磁気テープの国産技術育成の功により科学技術庁長官賞受賞  
 昭和 44 年 1 月 東京電気化学工業株式会社取締役会長に就任  
 昭和 46 年 11 月 財団法人斎藤憲三顕彰会の創立を図り理事長に就任  
 昭和 47 年 12 月 科学技術庁参与になる  
 昭和 48 年 11 月 産業振興の功により秋田県文化功労章を受ける  
 昭和 54 年 2 月 社団法人電気化学協会会長に就任  
 昭和 54 年 11 月 勲二等瑞宝章を叙勲される  
 昭和 58 年 11 月 財団法人山崎自然科学教育振興会(静岡県)を創立  
 昭和 63 年 3 月 仁賀保町名誉町民の称号を賜る  
 昭和 63 年 6 月 社団法人蔵前工業会理事長に就任  
 平成 元年 9 月 秋田県名誉県民の称号を賜る  
 平成 4 年 4 月 財団法人加藤科学振興会(東京都)理事長に就任  
 平成 10 年 11 月 20 日 逝去(満 89 歳) 従四位に叙せられる